

## くれよん広場開催

西木公民館では10月26日、かみひのきない保育園・ひのきない保育園、にここ幼稚園とのタイアップで、幼児教室「くれよん広場」を開催しました。



園児110名余りとその保護者が、クリオンと体育館で親子ふれあい遊びや子どもリズム体操、保護者には法務省人権擁護委員の山崎澄子氏の「今こそ親子のふれあいを」と題して、ちょっと辛口の子育て講演会が行われ、親子・親同士のふれあいと子育てを考える広場になりました。

参加者からは講演がためになった、このような機会をまた作ってほしいなどの感想をいただきました。



地域で進める親子国際理解推進事業

## 西木「チビッコちゃれんじクラブ」



手作りのマスクでハロウィン

県生涯学習課主催の「国際理解チャレンジクラブ事業」は、子ども達の週末の体験活動のひとつとして、多様な価値観を尊重できる子どもの育成を目的に県内の21カ所で行われております。

西明寺地区26名、松木内地区13名のチビッコちゃれんじクラブ員は、7月～11月それぞれ7回、英語の歌や絵本、ゲームなど毎回趣向を凝らしたプログラムで英語や日本文化にチャレンジしました。



「茶道」にもチャレンジです。

## 第23回 歳末チャリティショー開催



講演する柿崎洋悦氏

11月20日、田沢湖婦人団体連絡協議会主催による、第23回歳末チャリティショーが仙北市民会館で開催され、婦人会の皆さんを中心に、老人クラブや踊りを習っている子どもたち、市民の協力出演者などによる歌や踊りが披露され、詰めかけた約700人の観衆からは盛んな拍手が送られました。

チャリティショーの最初には、旧平鹿町の元教育長であった柿崎洋悦先生による講演「一度の人生、感動・好奇心で今日もいきいき」があり、老後の迎え方の心構えなどについてユニークに語って

いただき、会場は大きな笑いに包まれていました。

今回の収益金は、市の社会福祉協議会や教育委員会の奨学資金として寄付される予定となっています。

